

ひがしゆり

HIGASHIYURI

 東由利町

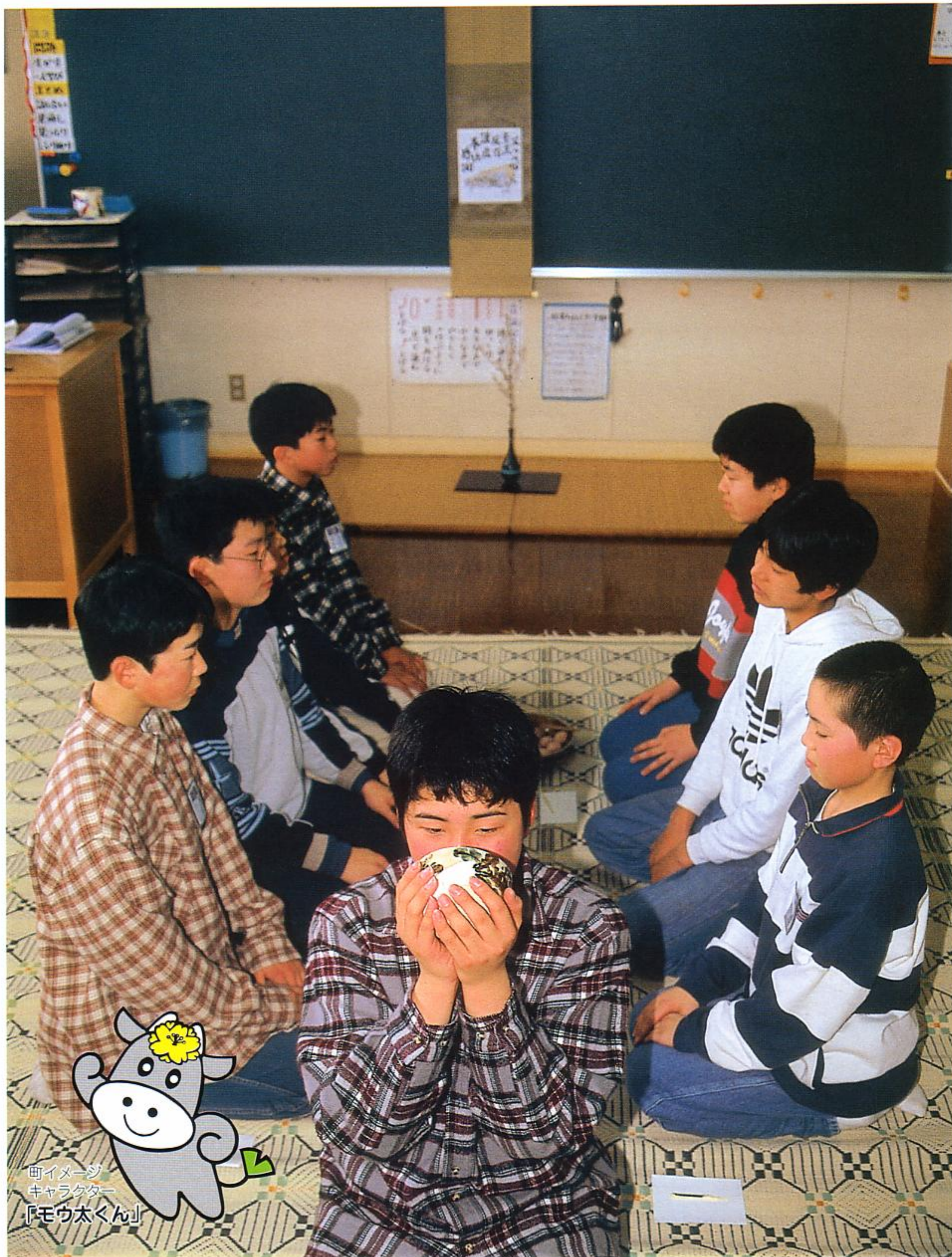
1999

4

NO.529

卒業の儀

八塩小お茶会にて



町イメージ
キャラクター
「モウ太くん」

目標持つて ちなる積み上げの年に



▲施政方針を発表する阿部幸悦町長

第3回 議会定例会

**財政構造改革元年
国では財政赤字整理を**

平成十年度は長く記憶に残る年になりそうです。

新しく日本を再構築していくとの意気込みで、行財政改革をはじめ六大改革を高く掲げて奮闘されていた橋本内閣が七月の参議院議員選挙で敗れ、その責任を取り退陣、代わって小渕政権が誕生いたしました。

後を引き継いだ小渕政権は世上マスコミなどから支持率は史上最低であるなどの評価もあったのですが、経済再生を至上命令の内閣であると言い直り、野党案の丸飲みであるなどと酷評されながらも景気浮揚策を次々に打ち出し、支持率も少しずつ上が

第三回議会定例会は三月四日に招集され、会期を四日から十六日までの十三日間としました。

初日の四日は阿部幸悦町長の施政方針の発表及び行政報告、教育委員長の教育方針発表、二議員による一般質問の後、玉米財産区有財産の処分についてなど七議案を原案通り可決しました。

翌五日には平成十年度一般会計補正予算など十三議案を原案どおり可決、総額四十一億五千六百万円（前年度当初予算比一・六パーセント増）の平成十一年度一般会計予算などを委員会に付託しました。

六日からは各委員会審議が行われ、最終日の十六日は東由利町情報公開条例など十七議案を原案どおり可決、閉会しました。

二面から十五面で議会定例会における町長施政方針を中心に、第三回議会定例会の内容を紹介します。

つてきているところであります。

昨年の当初予算の国会論議では、先の六大改革のうち財政改革を大きく取り上げ、財政構造改革元年とし、三年間で一五％もの公共事業の削減もしながら国の財政赤字の整理をしていくとしていたのであります。が、小渕政権ではバブル後の金融システムが、再構築の遅れからくる貸倒りや、銀行さえも倒産するという金融不安なども大きな原因とされる未曾有の不景気からくる社会不安の解消のため、何でもありとも言われる景気浮揚対策をとられ、地方自治体はその対応に戸惑っていることも確かであります。財政支出に切れ目のない十五カ月予算、第三次補正などの浮揚策であります。

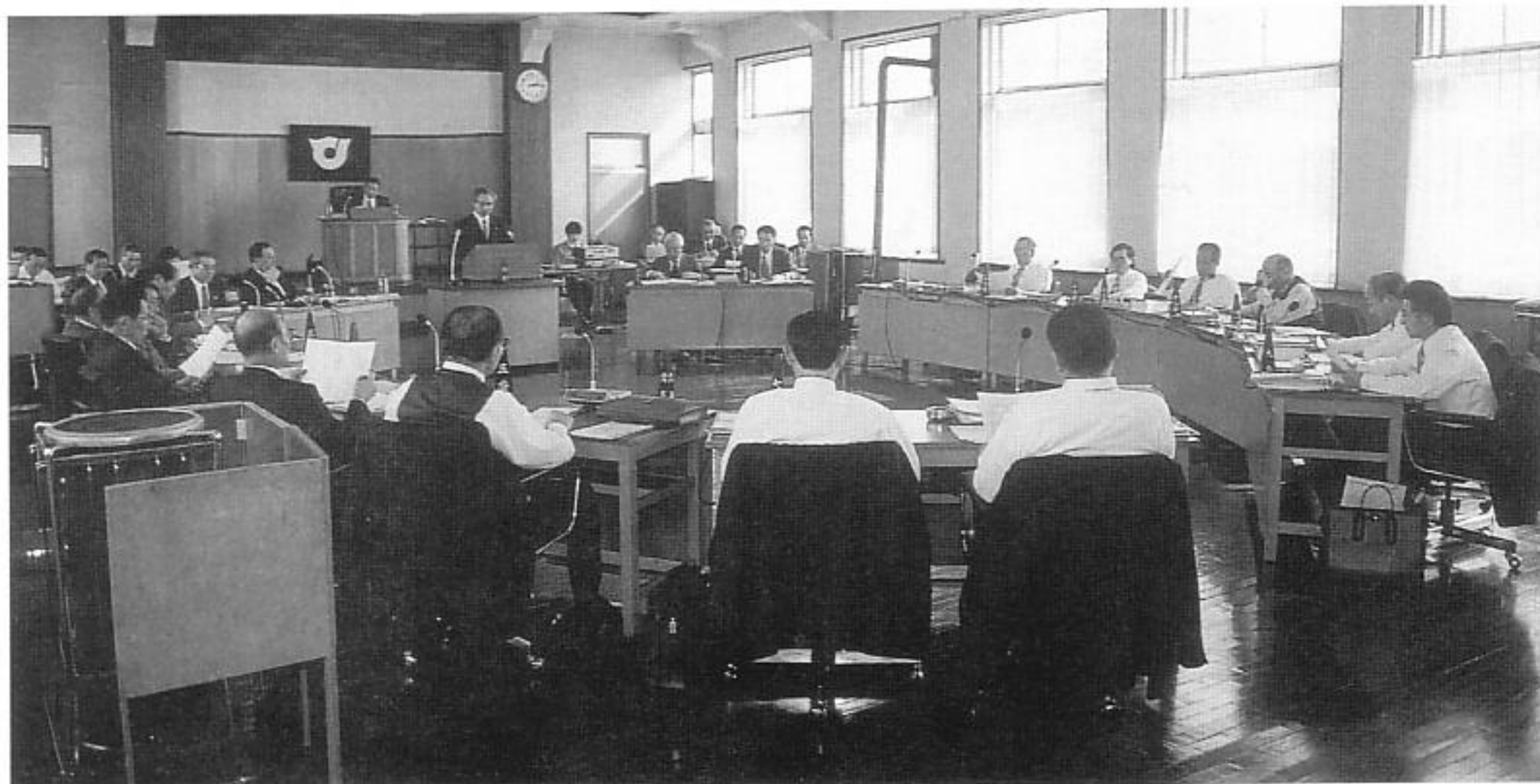
この三月十日にはわが町でも、いまだ経験のない地域振興券なるものの交付もあり、どの市町村もその対応に戸惑っているところでもあります。

北欧の海外研修に参加 世界の中の日本を思う

昨年九月にドイツ及び北欧の介護保険及び老人福祉の研修をするという秋田県町村会の視察団に参加させてもらいました。

ドイツに着いた日が連邦議会の投票日という時であり、十六年間続いたコール政権から新しくシュレーダー政権に代わるという歴史的な場面に出くわしました。どこの

町民の英知集めて町づくり



▲3月議会定例会の様様

国も新しい価値観を作り上げるために呻吟
をしていることを知らされました。

日本も転機であり、バブルのころの日本
を取り戻そうとするのか、大きな経済成長
はないが自然や環境を重視した成熟した国
づくりをして行くのか、いま大きな分岐点
に立っていることを思ったことでした。

しかし世界の中の日本、アジアのリーダ
ーとしての日本でもあります。アメリカや
アジアの国々からは一国平和主義ではその
役割を放棄するものともいわれ、経済の活
性化や景気の浮揚策を優先して行かなけれ
ばならず難儀をしていることです。

秋田県も寺田県政が奮闘中であり、食糧
費の問題も整理ができましたが、今度は畜
産公社の問題などで、平成九年度の決算も
四年続きの不認定という結果になり、前進
する県政になるには時間がかかるなという
感じであります。

ミニ新幹線も完成し自動車専用道路も横
手をつながったということを馬力にできる
秋田県政を一日も早く実現してもらいうこと
がわが町にとっても大事なことです。

出羽丘陵草地開発の償還金問題では寺田
知事の大変なご理解があつて、畜産農家の
償還金に対する大幅な利子補給制度を作り
上げることができて、参加農家から大きな
感謝をされております。関連十町による結
束もあり、出羽丘陵の実情をよく理解して
頂いたことに心からお礼を申し上げます。

しかし財政赤字の解消と言つて一方的に、
今まで町村と築き上げて来た信頼関係を崩
すことのないようお願いをしたいものです。

英知集め

町の発展と福祉向上を目指す

一年三百六十五日、世界で、日本で、秋
田県で、そしてわが東由利町でも様々なこ
とがあり、それぞれの立場でそれに全力を
尽くして取り組んできた年でありました。

引き続き、平成十一年度も更なる町の発
展と町民福祉の向上に頑張り合える一年に
なることを強く祈念し、先輩諸氏が苦労し
ながら築き上げてこられた現実に、わたく
したち現役が目標をしっかりと持ちながら、
どうさらなる積み上げができるかが問われ
る年であります。

この大変な現実からどういう段階を経て、
活力ある日本に到達できるか私たちも日本
国民の一人としてそれに参加して行かなけ
ればなりません。

課題は無限で能力は有限であります。し
かし多くの町民の英知を集めてこれに取り
組むならば、時間はかかるかも知れませんが
克服できない課題はないものと思ひます。
微力ながら今年も町行政の先頭に立つて、
議会の皆様はじめ町民各位のご指導ご協力
を得て「明るく元気の出る町」東由利のた
めに頑張つて参りたいと存じます。

抜 粋

41億5千万円

町民1人あたり 798,003円

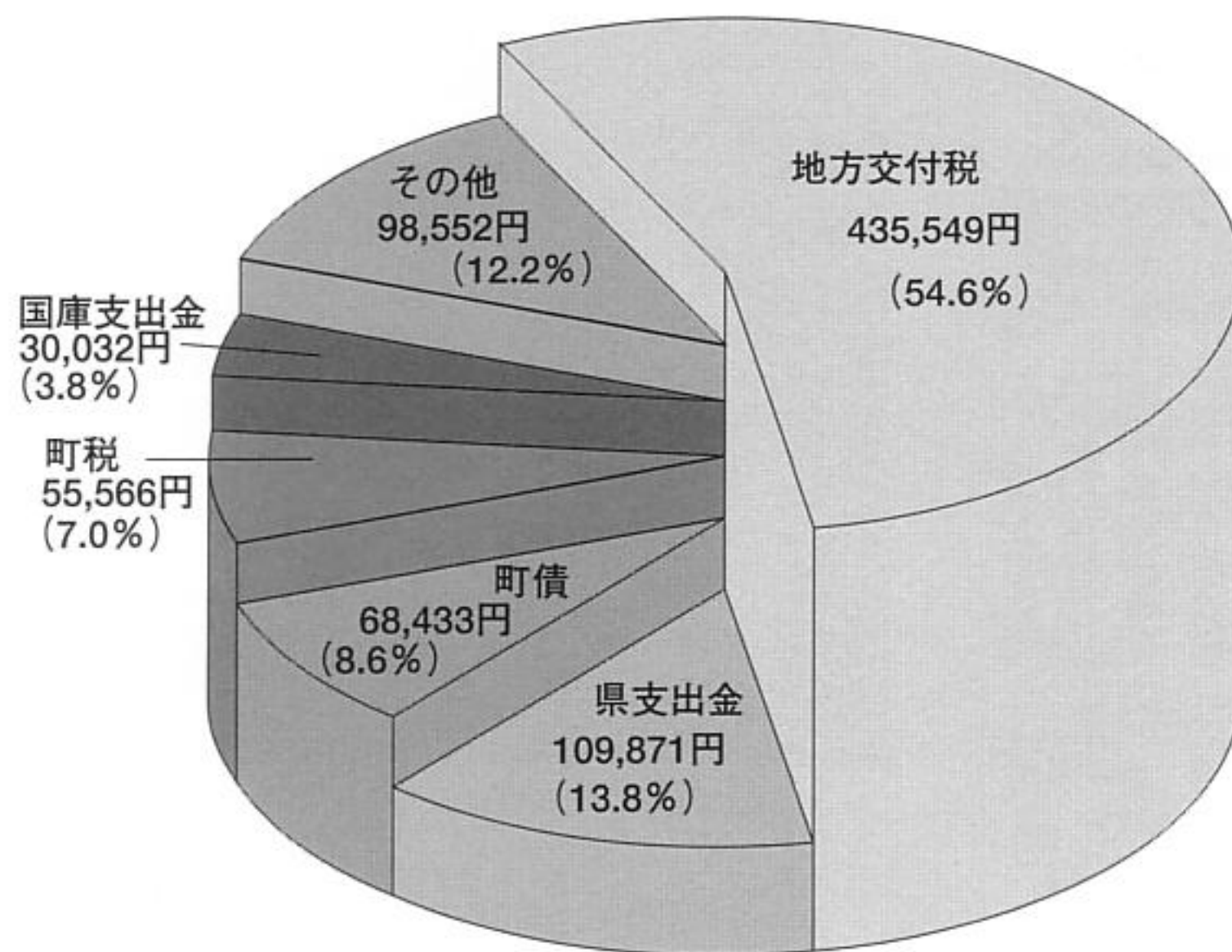
歳入

町の人口は2月末現在5,208人とした

歳入

(単位:千円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	増減率(%)
町税	289,390	299,226	△9,836	△3.3
地方譲与税	64,000	61,000	3,000	4.9
利子割交付金	2,000	2,000	0	0.0
地方消費税交付金	40,000	22,000	18,000	81.8
特別地方消費税交付金	1	1	0	0.0
自動車取得税交付金	30,000	36,000	△6,000	△16.7
地方特例交付金	4,000	0	4,000	皆増
地方交付税	2,268,339	2,149,232	119,107	5.5
交通安全対策特別交付金	1,200	1,200	0	0.0
分担金及び負担金	63,231	78,336	△15,105	△19.3
使用料及び手数料	22,269	21,405	864	4.0
国庫支出金	156,405	217,322	△60,917	△28.0
県支出金	572,212	500,124	72,088	14.4
財産収入	12,719	11,279	1,440	12.8
寄付金	1	1	0	0.0
繰入金	167,067	171,605	△4,538	△2.6
繰越金	70,000	60,000	10,000	16.7
諸収入	36,766	37,269	△503	△1.3
町債	356,400	420,000	△63,600	△15.1
歳入合計	4,156,000	4,088,000	68,000	1.7



歳入 町民1人あたり

町長施政方針から

国財政の危機的状況を心配しながら橋本内閣では財政構造改革元年といっておられた十年度の国予算でありました。しかし七月参議院議員選挙の結果をうけて小渕政権が経済再生内閣として誕生してからは様相が変わり、景気浮揚が最優先となり、第三次補正まで組む状況になり、対応する私たちも戸惑ったことでしたが、予定していた事業であればその先取りであると考えたところでもあります。

秋田県の十一年度当初予算は前年比マイナス三%の予算であります。県債が一兆円を超え、このこと、不景気のたに歳入の県税、特に法人事業税の落ち込みを心配されているようであり、大変厳しい予算編成になっており、これは当然ながら町にも補助率の削減などいろいろな影響が出てくることでもあります。

しかし当初予算では、財源の多くを地方交付税にもつわが町ですが、国の地方財政計画をみるかぎり予算編成時には影響が少ないだろうと考え、精一杯の予算編成であります。

自主財源の少ないわが町では、過疎債をはじめ良質債を積極的に取り入れ、町民福祉の向上を計って行くのは当然のことです。起債残高も大きくなっています。起債残高も大きくなっていることから、財政の健全化のパロメーターとも言える指数にも十分配慮しながらの予算編成であります。

今年もいつも申し上げますわが町づくりの永遠のテーマであります四つの課題、

- 一 長寿社会を共に寿ぐために
 - 二 山紫水明の里づくり
 - 三 産業の振興
 - 四 人材の育成後継者づくり
- を強く心しての予算編成であることは言うまでもありません。

町議会のご提案や議論・予算・決算での審査報告書や町政座談会等のご要望や日ごろの町民の町づくりに対する多くのご意見にも配慮し施策化し予算化したものであります。そしてまたそれぞれの担当職が英知を絞った結果でもあります。

用語解説

歳入編

▼地方交付税(町歳入予算五四・六%)

国税である所得税・法人税・酒税の合計額の一定割合および、消費税の二九・五%、国のたばこ税の二五%を、自治体の自主財源として配分する税です。

自治体間の財源均衡と自治体に必要な財源を確保するために設けられた地方財政調整の仕組みで、自治体が標準的な仕事をしていくうえで必要な一般財源と、普通の状態が集まるとみこまれる税収の一定割合を計算し、必要一般財源が税収額を超過した場合、その不足分に応じ、交付されます。

▼町税(町歳入予算七・〇%)

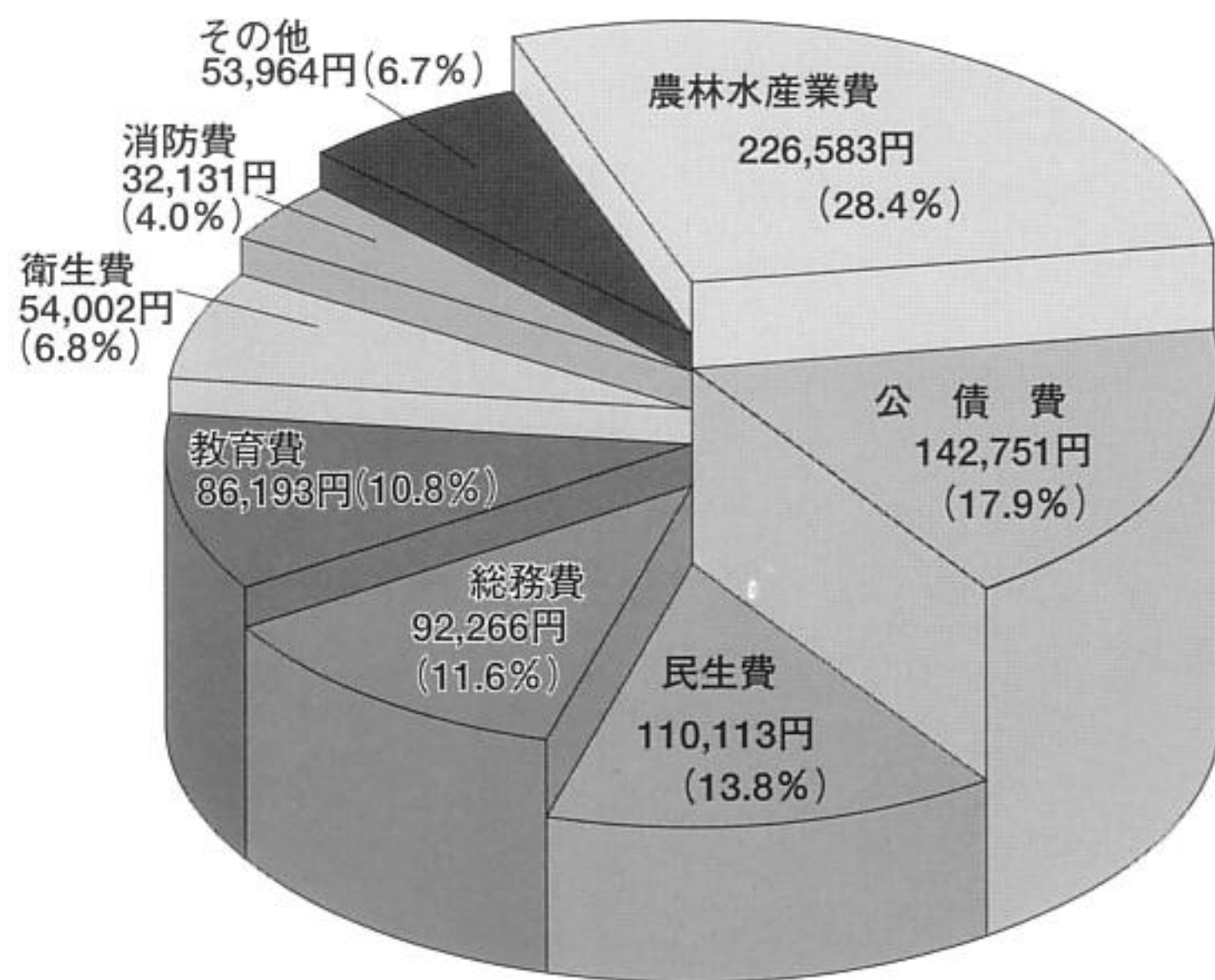
町が課税権の主体として賦課徴収する租税。町民税と固定資産税が主要な税目となっています。

▼町債(町歳入予算八・六%)

町が資金調達のために負担する債務をいい、その返

歳出

一般会計当初予算



歳出 町民1人あたり

歳出

(単位:千円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	増減率 (%)
議会費	88,313	89,188	△875	△1.0
総務費	480,522	427,892	52,630	12.3
民生費	573,468	508,270	65,198	12.8
衛生費	281,244	281,888	△644	△0.2
労働費	13,350	9,313	4,037	43.3
農林水産業費	1,180,046	1,043,239	136,807	13.1
商工費	24,490	19,469	5,021	25.8
土木費	149,054	335,317	△186,263	△55.5
消防費	167,339	172,192	△4,853	△2.8
教育費	448,891	499,157	△50,266	△10.1
災害復旧費	2,235	1,332	903	67.8
公債費	743,447	690,047	53,400	7.7
諸支出金	101	7,696	△7,595	△98.7
予備費	3,500	3,000	500	16.7
歳出合計	4,156,000	4,088,000	68,000	1.7

平成十一年度一般会計当初予算は四十一億五千六百万円、前年度当初比一・六%の増となります。歳入については町税が七・〇%、地方交付税が五四・六%、起債が八・六%になります。財政調整基金・減債基金等の繰り入れが四・〇%の一億六千七百万円になります。

補正でいま想定しているものは、山振事業の旧住吉小学校跡地整備、除雪ドーザの更新、林道仲ノ沢線の事業費等にかかわるものが大きなものとなっております。

中山間・山振事業の継続もありますし、町民プールも完成します。第五〇回になる県植樹祭もあります。介護保険も由利本荘の広域で取り組んで行くことになりましたが、今年十月からは認定作業も始まることです。そのため社会福祉協議会に委託しているヘルパー支援も一層強化していきます。

これに対しての財源は、町税には大きな伸び

の要因はないのですが、地方交付税は国の地方財政計画を見る限りでは一九%もの増になっており、全国の市町村に一律の配分は期待できないものの、前年比五・五%増で見込んだところであります。

また、まだ十年度の決算整理ができておりませんので当初では財政調整基金・減債基金の取り崩しも図っております。

起債も過疎債は当然期待しているところです。結果前年度当初比プラスということに致しました。

起債残高についても大変大きな額になっておりますが、起債制限比率では一〇%程で推移する見込みであり、指数を見る限り財政の健全化は保てるだろうと思っております。

しかし、これからいよいよ取り組んで行かなければならない役場庁舎の建設は交付税措置の伴う良質起債はありませんので、そのためにも計画的な財政運営を図って行かなければならないことは当然であります。

(一般歳出の内容については、六面から九面に、各特別会計については十面にそれぞれ町長施政方針から紹介しています)

済が一般会計年度を越えて行われるもので、普通は政府や銀行などの金融機関から借り入れます。

地方債を起こすことを起債といい、地方債を発行してよい事業を適債事業といいます。

▼国庫支出金(町歳入予算三・八%)

使途を特定して町に交付される資金の総称で、地方財政法では、その内容の性質により①町が実施する事務の経費の一定割合を義務的に負担する国庫負担金②特定の施策実施の奨励や財政援助のための国庫補助金③国が行うべき事務を自治体に処理させる際の必要な経費を支出する国庫委託金に区分しています。

▼県支出金(町歳入予算三・八%)

国庫支出金と同様に使途を特定して、県から交付される資金のことです。

但し、国から交付される資金でも、県予算を通して市町村に交付される場合は、県支出金に区分されます。

長寿社会を共に寿ぐ

保健福祉



お年よりが安心できる町づくりを

介護保険業務は広域で

平成十二年からはじまる介護保険については知れば知るほど心配なことです。しかし、私たちがとしては法の精神にのっとりて実行するしかないので、泣き言をいってはいられません。

認定業務は由利本荘一市十町広域で取り組むことになりましたが、財政まで一緒にとはなりませんでした。

一市八町が一つの保険者になって取り組むことになりました。

また関係規約の改正案もお願いしてあります。広域事務組合にも多大な難儀をかけますが、費用の負担やたち上げまで担当職員の手伝いは当

然のことです。十月から認定作業が始まりますからこれからの準備を急がなければなりません。

老人福祉施策の在り方が大きく転換することになりますし、それに備えた対応は先に述べた通りであります。保育所措置費をはじめとする児童福祉や身体障害者福祉等、ソフト施策の充実についても従前通り配慮しております。

社会福祉協議会の事務所を移転

社会福祉協議会に委託しておりますホームヘルプサービス事業費に、ホームヘルパーの車の購入分を見込んでおります。

また社会福祉協議会にはもう少しいい環境の中で仕事をしてもらいたいのですが、狭い庁舎の中ではなかなか工夫も難しいことから、森林組合に旧営林署老方担当区の建物等へ引っ越しを願ひ、その後少々の手直しをして社会福祉協議会に入って貰えればと考へたところです。

町民から、役場では相談するにもなかなか行きづらいということも言われますし、この際、

別の組織だということをお互い意識してもらいたいこともあります。

湯楽里券は70歳からげんき券として再出発

高齢者福祉では従来の湯楽里券を見直しして充実させようと考えております。

湯楽里券では七十五歳以上の皆さんとなっておりますが、付き添いが必要な人も多く、しかも九〇分券では半端で使いにくいという声がありました。そこでこの券を一日券にして対象年齢を引き下げ、七十歳以上からということに改正致しました。

湯楽里は町の福祉施設でもありますし、また体が大変いいという評価もいただいていることです。この券を、老人クラブの仲間づくりにも利用してもらい、いつまでも元気で過ごしてもらいたいものであります。名前も「げんき券」としました。

いちよう館 駐車場の整備を実施

いちよう館の駐車場の整備を行います。いちよう館を建設した際に職

員駐車場が必要でしたから、隣接の土地の譲渡をお願いしたのですが承諾をもらうことができませんでした。

やむをえず路上駐車ということになり農作業などに迷惑もかけていたのですが、このたび、所有者の承諾が得れるということとで取得して駐車場として整備を致します。

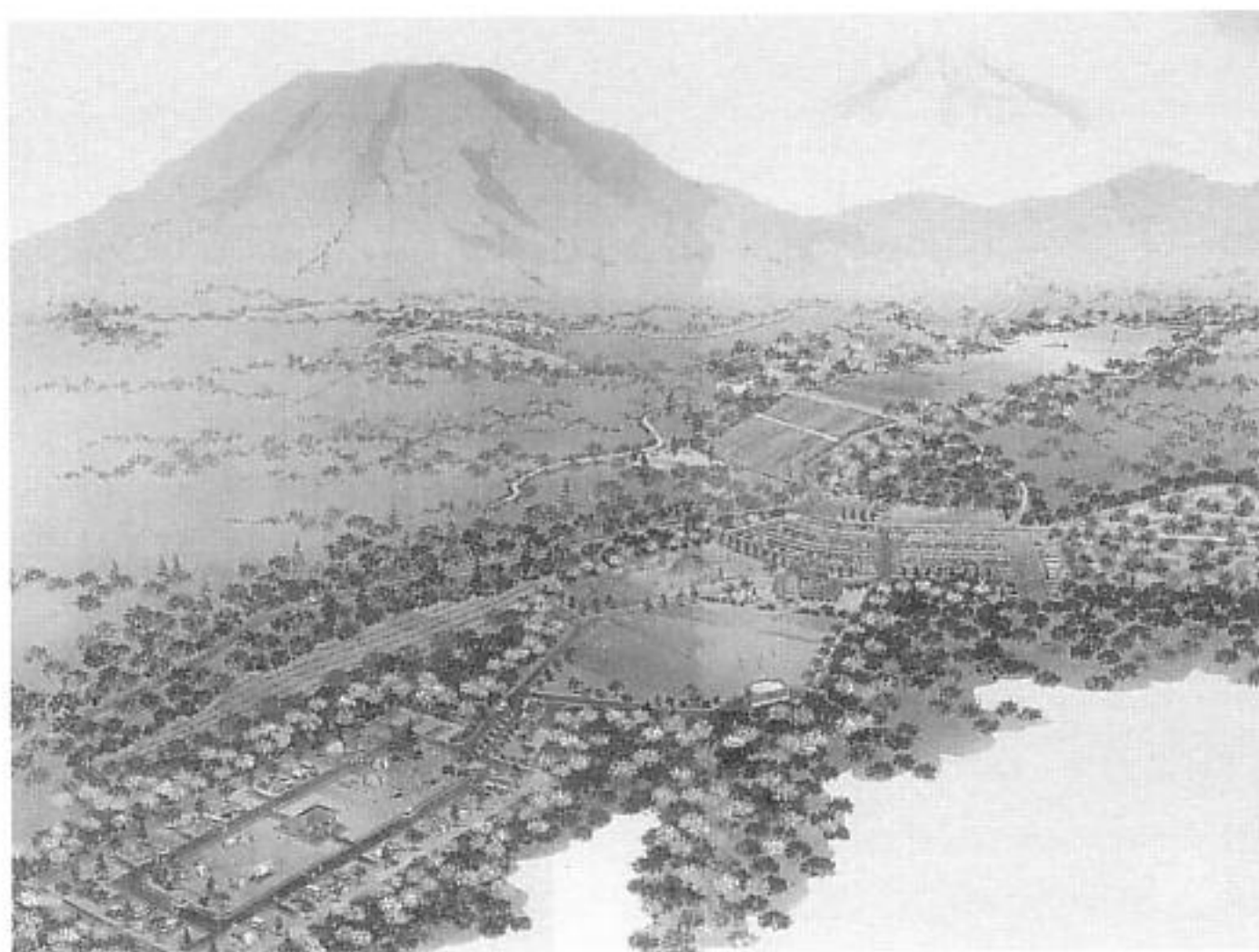
農道小田線も今年完成することになり、法内方面からの交通量も増えることになりますから、いいタイミングになったかと思ひます。

歯科衛生の充実を図る

健康管理の推進ではかつて結核予防が大きなウエイトを占めていた時代が長く続きましたが、それが高血圧の撲滅運動へと続き大きな成果を収めたことです。

町では十一年度から、歯科衛生推進にも重点を移して行くということになりました。健康の基本は歯を大事にして行くことからとも言われる時代、大きな成果を期待しているところであります。

定住環境



八塩地区整備は町活性化の起爆剤

黒淵に朝日放送中継局整備 法内地区も調査

朝日放送の黒淵中継局の整備を致します。

これは平成九年度老方地区の太平山に中継用のアンテナ整備

の完成時に、続けてやって欲しいとの地元皆さんから陳情もありましたが、同中継局の成果を見てからにしたいと申し上げたことでした。

また、法内地区も難視聴地区ですから、この機会に地区全部を対象にした調査を実施したいと考えているところであります。

船木の消防車と車庫を更新

消防施設の整備については、十年度に引き続き積載車四台を予定致しました。

船木地区の積載車を更新予定ですが、更新により既存の車庫が小さいということになり車庫の改築も実施致します。

大台にサイレンシステム整備

大台地区にサイレンシステムの整備を致します。黒沢もその範囲にはいることとなります。これで一応当初予定したチャイムシステムの整備が終わることになります。

八塩地区の整備進む 完成は十三年度を想定

八塩いこいの森で、集中的な整備が進捗していることはご承知の通りです。同地区一帯の整備については順調に進捗していますが、計画では完成を平成十三年度に想定しております。

これをいかに町の活性化に結び付けて行けるのか、これからソフトについても真剣に取り組んで行くことであります。

八塩ダムについては、県営老朽ため池整備事業で土地改良区が整備を進め、十一年度完成となります。その利活事業として町が堤体部分の歩道の整備と護

岸の整備、特にボートの船着き場などの整備を致します。

また森林総合整備事業と中山間事業でセンターハウス、駐車場、オートキャンプ場ができあがります。

ボツメキの県営老朽ため池整備事業も十一年から調査及び作業用の道路工事が始まります。十年度から十四年度までの五カ年事業で約二億円程の事業になります。

受益者負担分についてはボツメキ水源の補償工事的性格なものとさせていただきます。

老方前提整備 平成十一年度で完成

十年度からの継続事業、前提の整備については十一年度完成であります。町の真ん中の親水公園となります。

道路整備事業計画も順調

岩館バイパスについては用地の買い上げを行いたいとしております。まずは順調な進捗と考

えております。

鳥海山麓の一環に八塩山があるという認識にたてば、仁賀保矢島館合線の矢島境の整備を急がなければなりません。町道を廃止して県道一本で行きたいと考えております。県にはまず簡易舗装でもよいと申し上げています。

笹倉トンネルの改修工事は、改修中にトンネル内に大きな陥没箇所が見つかり、改修費が増え完了することが出来なかつたということ、十一年度完成ということになると思っております。一番の難所は改修ができたと思います。

宿河川公園にも桜を植樹

宿河川公園ですが十一年度は右岸の整備になります。右岸の空き地に植樹祭と併せ合わせて桜の植樹ができればと考えております。

十二年度に完成ということになり、それと合わせ、トイレの設置も行うべきと考えております。

山紫水明の里づくり

活力ある産業の振興

地域活性化・産業振興

**農道一気に完成
アクト二期のみ次年度**

両善寺線、四ツ眼線、新処線、小田線、明通線は十一年度の完成となります。来年度以降に残るものはアクト二期のみとなります。

順調な進捗の湯出野線



**林道三ツ森山線
本年度で本町分完成**

ふるさと林道緊急整備事業の三ツ森山線は、昨年の改良部分を舗装することで、本町分は完成となります。

平成五年度からの事業で、当初五か年事業で完成する予定でしたが、七年で完成ということになります。ただ雄物川町分についてはもう二年から三年はかかる予定です。

林道袖山沢中線、湯出野線、石塚線は順調な進捗見込みです。また、仲ノ沢線は新規事業

業として測量調査が始まります。

**県営高森線
三年で五キロ余り整備**

県営事業の高能率生産団地路網整備の高森線は十一年度から三カ年事業で全長五千二百五十五メートルで総工費が四千二百万円程の工事になります。用地買収、立木補償なしという事業です。

県営土地総事業が終了

平成五年度からの事業県営土地改良総合整備事業も十一年度で終了します。

昭和四十年代の第一次構造改善事業による圃場整備の再整備的な面が強くありましたが、これで農道拡幅や用水路・排水路の再整備が出来上がりました。対象農家にも大変に喜ばれた事業になりました。

続けて県営圃場整備事業による排水路の再整備についても検討を考えております。

**葎沢地区のほ場整備
本年度も全面休耕で**

県営担い手圃場整備事業の葎沢地区も順調な進捗になる見込みです。十一年度も葎沢地区の皆さんには全面休耕でお願いをして行くこととなります。

十二年度完成の暁にはこの二十ヘクタールを超える圃場に全面作付けができますようにと祈念して工事の進捗を楽しみにしているところです。

**農家の農機具負担軽減
リース事業取り入れ**

低コスト水田営農緊急対策で農機具の生産費に占める割合の高さを軽減していくと、県、農協、町と三分の一ずつを負担してのコンバインのリース事業に取り組みます。三台の予定であります。

また畑作の拡大部門として大きく伸びて来ましたが馬鈴薯について、ポテトハーベスタのリース事業もとりいれます。

**JA東由利支所隣地に
農産加工施設を建設**

農林水産物処理加工施設をJ

A東由利支所に付帯して建設いたします。

利用者は農協婦人部をはじめ加工に携わる町民皆さんであります。施設の管理はJAさんをお願いすることになります。この用地についても土地を町が買収して整備ということになります。

**旧住吉小跡地整備に
調査設計費を計上**

旧住吉小学校跡地の整備について、当初予算で給食棟の解体費と調査設計費を計上しました。この事業で旧住吉小学校跡地一帯の整理がつくものと考えます。

**町商工業のため
様々な振興策を模索**

商工振興対策としては、この不景気なときなかなか行政としては有効な対策も出せないこととありますが、マル由資金の限度額の引き上げや基金の増強、償還期間の延長、利子軽減に努めたことです。また商工会にも多少の補助金の引き上げを図り、下水道工事にも手伝いをさせてもらうことです。

子供たちが二十一世紀を背負う



町民プール この夏から使用可能に

町民プールは屋根の整備であります。限度額の決まっている補助をお願いしていたところですが、十一年度の文部省の予算には補助がないということでした。

補助がないとすれば国の内示を待って発注するという必要もないことです。完成も早まり、シーズン初めにはオープン出来ることになりそうです。

陶芸窯を設置 子供利用に期待

陶芸窯の設置を図ります。

陶芸クラブの要望や全県野焼きの会の常設会場としてわが町が大きく期待されていることに応えて行こうとするものです。

す。子供達にもぜひ利用してもらいたいものです。設置場所は湯楽里の周辺か、げんき館周辺を考えております。

東中三十周年記念で 海外研修を提案

東由利中学校も創立三十周年をむかえ、学校やPTAでも記念事業などを計画しているようですが、町でも記念事業の一つとして中学生の海外研修を提案しています。

ALTのご指導もあることで、すし、英語圏で生の英語に接し、また若いときにカルチャーショックを受けることが今後大きな励みにもなるのではないかと考えました。ぜひいい研修の機会にしてもらいたいものです。

健康増進センターに 高橋宏幸先生の絵を

昭和六十二年に竣工した健康増進センターも十一年が経過、屋根・外壁の塗装をしなければなりません。この際、国道側の外壁に、高橋先生にいただいた原画を元にした絵を描きたいと思っております。今夏竣工する町民プールと並び、いい組み合わせになると思います。

万全の体制で 五月の植樹祭に望む

五月十三日の第五十回秋田県植樹祭の会場整備については、お祭りではありませんが、全県から知事さんはじめ多数のお客様が来られるわけですから、失礼のないようにしなければなりません。

野外でやるということにしていますから、天候、雨、風なども想定しながら、限られた条件の中でそれぞれの役割を分担し精一杯の努力をして参ります。

植樹祭を中心にした テレビ番組を制作

植樹祭など八塩山一帯の施設、オートキャンプ場などの宣伝も兼ねてのテレビ放映を考えております。

今年は合併四十五年で町制施行二十五周年でもありますからビデオ化して町政座談会・東京東由利会などでも使えるようにと考えております。

黄桜マラソンに 有名女性ランナー招待

黄桜まつり恒例の黄桜マラソンに郵便局の簡保事業の協賛があり、計画段階では有名女性ランナーの招待の話があります。子供達と一緒に黄桜の咲く中、改修なった八塩ダム周遊道を走ってもらいたいものです。

町写真誌を作成 町の歴史を刻む役割を

町の歴史を写真で偲べるように町内の皆さんにもご協力をいただき写真誌を作りたいと計画しております。東由利町史を補完していくというところで毎年のように冊子を刊行していますが、十一年度整理したいと思っています。

館合三階建て跡 十一年度に整備構想

旧館合小学校跡地の整備ですが、老朽化し解体した三階建て跡地をどうするかについては地元での議論をよくお聞きしてから予算計上いたします。保育園への道路入口拡幅、防火水槽の移設なども一連の整備構想と一緒に考えたいと思います。

特別会計

昨年比六千万円の増額に

町長施政方針から

特別会計当初予算 26億9千万円

(単位：千円／△：減)

項 目	本年度当初予算	前年度当初予算	増減率(%)
国民健康保険	444,130	474,302	△ 6.4
老人保健	681,501	724,322	△ 5.9
簡易水道	476,678	372,401	28.0
農業集落排水	808,332	781,635	3.4
特別養護老人ホーム	265,032	256,896	3.2
大平スキー場	18,702	20,306	△ 7.9
玉米財産区	0	572	△100.0
合 計	2,694,375	2,630,434	

玉米財産区は廃止 今後は町が直接管理

玉米財産区特別会計については、財産の処分や管理会条例の廃止の議決とともに廃止となります。

今まで管理会で育ててきた林木等は今後町が直接管理ということになり、その収益がもたらすものについては地区住民の福祉の向上につながる使い方をすることになります。

国保特別会計

前年比マイナス六・四%

国民健康保険事業勘定特別会計ですが、四億四千四百万円になります。昨年比マイナス六・四%になります。

これは被保険者数の減少や、昨年度の医療保険制度改正の影響とこれまで町が実施した保健事業の健康増進や重症化対策の成果の現れと思います。

老保特別会計

前年比マイナス五・九%

老人保健医療事業特別会計は六億八千万円になります。これも昨年比マイナス五・九%になります。これは受給者は年々増えてはありますが、国保会計と同じような理由でマイナスとなったものと思います。

簡水特別会計は老朽管と 大琴水道整備が中心に

簡易水道事業特別会計は四億七千六百万円であり、昨年比二八%の増になります。

これは老朽管の更新事業と大琴水道の整備が大きなものであり、老朽管更新は十三年度までに完成ということになります。

大琴水道は十一年度、男清水女清水水源の下方に百五十トンの配水池と圧力調製井、滅菌室の整備、関連配管工事をして完成となります。これで大琴地区の水量については安定確保ができることとなります。

また、松沢浄水場の貯水槽の防水工事が必要であります。貯水槽の鉄の部分にサビが出てきたということで、昭和五十八年度竣工以来初めての手直しということとなります。

大袖水道は水源の問題で浄化装置も傷みが激しく保守に難儀をしていることですが、「八塩いこいの森」まで東由利水道が来ることになりましたからそれを大袖水道と統合できないかと考えています。

旧館合水道の跡地についても修復工が必要でないかと思っております。

農集排特別会計

本年度は館合地区の整備

農業集落排水事業特別会計ですが四年目に入りいよいよ館合地区に入ります。

八億八百万円で八日町から下小路、家ノ下、五海保に、また館西から宇戸坂、須郷田入口までという範囲です。説明会も開き、工事にご理解を得て行きます。また供用地区については加入の勧誘にも、より力を入れて行かなければなりません。

東光苑特別会計

開設十三年、改修時期に

特別養護老人ホーム東光苑特別会計は、二億六千五百万円で昨年比三・二%の増です。

開設以来十三年目に入り、様々な傷みも目立って来ましたので、改修検討の時期です。

大平スキー場特別会計 一層の利用促進を図る

大平スキー場も千八百七十万円で当初出発になります。

今冬は由利郡本荘市の中学校大会や、スポ少大会に使われ、またスノーボーダーにも大変評価が高いようです。国道一〇七号側のファミリースキー場として一層の利用促進に努めます。

平成十年を振り返り

町長施政方針
から

全国的な異常気象 米収量は平年並み

平成十年は全国的な異常気象の年であり、わが町でも三月にはもう雪が消え、十分な暖かさになり、農作業も早まりました。自慢の「八塩いこいの森」の黄桜も四月の二十九日にはもう満開となり、黄桜まつりに予定した五月九日から十日には葉桜祭りといわれたりしました。

順調な春ではありましたが、梅雨に入りますと、とうとう梅雨明け宣言もできない状況になりました。局地的な大雨もあり袖山、大吹川地区に集中した災害も出たことでした。

八月は今世紀最少の日照時間ともいわれ、でき秋が心配されましたが、後半やや持ち直して辛うじて平年作の「あきたこまち」となりました。

生産調整が三〇％に 本町はまずまずの作柄

新食糧法ができ、米価にも市場原理が導入され、三七〇万トンもの在庫米の整理が米価の維持につながるという認識で、二年続けて三〇％にも及ぶ生産調整が選択された最初の年でありました。

結果として一等米比率は下がりましたが、由利郡内ではまずまずの作柄と比率でありました。

しかし、わが町農業振興のリーダーとして大きく育ってもらわなければならぬ認定農家層のダメージが予想以上に大きいのが気掛かりでありました。

町畜産に明るい兆し 平準化事業の成果大

由利牛はここ何年間もずっと右肩下がりであつた子牛の市場上場頭数の減少が止まりました。

農家の高齢化、就業構造の変化などやむを得ないと認識していますが、前年度の頭数を越えて上場されており、価格もいいところになりました。

この二月初セリでは去勢子牛価格で四十九万円もの値段をつけた事です。生産調整分をこれでカバーしようと思つたところもあったでしょうし、また先駆けて取り入れました平準化事業の成果も大きいものがあると評価されたことです。

農集排が供用を開始 加入率は二三％に

農業集落排水事業も三年目に入り、七月には供用開始ができました。

ました。

山紫水明の里の基本を担って行く事業であります。きれいにするといいことは行政も受益者も本町にお金のかかります。加入率は二三％程度ではあります。が、この山紫水明の里東由利を我々の時代だけで食いつぶすことは許されません。環境を維持し保持していく義務があります。加入にご理解をお願いして行かなければなりません。

分譲宅地が大琴に完成 人受け皿の役割を期待

大琴地区に初めての分譲宅地が完成しました。

他町村からも来て新町民が増えてくれることも歓迎であり、すが、わが町の将来を考える時に国道、県道周辺に人が集まってくると思えます。その受け皿として老方地区、館合地区、蔵地区に分譲宅地の整備をして行きたいと申し上げているのですが、その一番に整備ができたこととあります。二区画の売買契約もできました。

携帯電話の中継塔が完成 利用者が増加

七月にNTTドコモの携帯電話の中継塔が完成し、携帯電話

が使用できる事になりました。いづれは町でも取り組みなければならぬ事業であるとの認識でしたので、ドコモの取り組みには感謝を申し上げます。

七回を数える宏幸賞 子供の読書に貢献

高橋宏幸賞も第七回になり、合わせて三千七百五十四点もの作品の応募がありました。

いつもながらの高橋先生のご協力は勿論のこと佐々木良三先生はじめ審査員の皆様のお力によるもので、子供達の本を読む、また夢を描く、膨らますという事にいささかの貢献もしたかなと思うものであります。

さくら賞受賞の副賞 五百本を植樹祭で植栽

四月には日本桜の会から「八塩いこいの森の桜」の管理が表彰に値するとの事で昭和五十九年の渡辺与七さんの個人賞に続き、団体賞として町が受賞したことでありました。このときの副賞の桜五百本は、今年五月十三日の第五十回秋田県植樹祭で植樹することとあります。

一般質問

議会定例会から

小松悌之助議員

問 平成十一年度当初予算について、国庫の当初予算が厳しい。本町予算に影響はないか。

答 県予算では県単事業三〇パーセント削減などがあり、現場として心配しているが、現時点では最善の予算編成と考えている。

問 黄桜の里の経営の抜本的な見直しが必要ではないか。

答 採算はとれていないが、福祉施設としての役割を考えると町の求心力になっている。会社としても、様々な方法で努力していく時間をいただきたい。

問 介護保険制度が来年四月より開始する。対応は大丈夫か。

答 保険料等について大変心配をしているが、事務の広域化などの体制づくりを行っている。最初から百パーセントとはいかないが、由利本荘地区の共通の課題として取り組んでいきたい。

問 国では市町村合併の動きがあるが考えは。

答 国としてみれば大幅な財政支出の減になることは確かだが、今の制度では合併が福祉向上になるとは考えにくい。国では合併推進の方向にあるが、現時点でできる町づくりをしていきたい。

小野 健議員

問 米の関税化はわが町農業最大の危機。町の対応を問う。

答 関税化は国で苦汁の選択だったと思う。今の段階ではベターな判断ではないか。町では施策の充実を図り農業を守りたい。

問 介護保険制度について不安要素が多くある。町の考えは。

答 福祉制度の一つであるという考え。現場で整理しなければならぬ部分もあるが、先々心配しながら国などに対し意見を出していきたい。実のある新しい制度と願っている。

問 バス停から遠い集落に住むお年寄りのため月に何度か福祉バスの運行はできないか。

答 福祉バスについては法規制があり出来ない。町としては通院バスなどの運行は試みているが、規制緩和があれば可能かもしれない。

問 新ガイドライン法案を阻止する声明を出すべきと考えるが町長の考えは。

答 この法案は有事の際の、自衛権の解釈と考える。いずれにしろ我々地方自治の範囲を超える議論であり、日本の安全はどのように守られるか、議論等を見守っていきたい。

議案

議会定例会
審議議案から

■議案第三号 玉米財産区有財産の処分
立木を東由利町に寄附するもの。(スギ、アカマツ、ザツ、計一六、七八八立方メートル)

で、歳入歳出それぞれの総額は四億九千二百八十三万八千円。

■議案第九号 平成十年度東由利町一般会計補正予算(第八号)
二千三百九十六万四千円の追加で、歳入歳出それぞれの総額は四十七億四千九百一十一万円。

■議案第二十八号 町道の廃止
住吉、軽井沢一号線をそれぞれ廃止。

■議案第二十九号 町道の認定
住吉線(起終点変更)、上ノ台一、三、四、五号線をそれぞれ認定。

■議案第三十号 町道の路線変更
両善寺線、沢中線の起終点をそれぞれ変更。

■議案第十号 平成十年度東由利町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第二号)
千六百八十九万七千円の追加

■議案第三十五号 東由利町情報公開条例の制定
町の保有する情報の公開を図り、町民の町政に対する理解と信頼を深め、町民参加による公正で開かれた町政を推進するもの。(詳細については十四、十五面を参照)

■議案第三十六号 東由利町固定資産評価審査委員会委員の選任
小松定雄氏(田代字山ノ下一)が再任。

▲3月20日玉米財産区解散会が玉米会館で行われた



▲3月20日玉米財産区解散会が玉米会館で行われた

■議案第三十六号 東由利町固定資産評価審査委員会委員の選任
小松定雄氏(田代字山ノ下一)が再任。

子供の個性を生かした教育を

「生きる力」の育成を

～学校教育

平成十四年度からの、学校週五日制完全実施を控えて、小中学校の学習指導要領が告示されました。

これは「ゆとり」の中で「特色ある教育」を展開し、子どもたちに豊かな人間的基礎、基本を身につけ、個性を生かし、自ら学び、考える力などの「生きる力」を育成することを基本的なねらいとしております。

「温かいふれあい」の機会を

～心の教育の充実

近年、全国的に児童生徒の問題傾向、非行はその低年齢化とともに、憂慮すべき事態を迎えております。不登校、いじめ、ナイフ事件、さらには学級崩壊などが報じられております。

幸いわが町においてはこうした事態は起きていませんが、他山の石として対応して参りたい

と考えています。

最近の子どもたちは、精神的な悩みや人間関係の不満等が高じると、自己抑制力の低さといま一つ、突発的な衝動や行動に出たりします。これらを防ぐには、やはり学校、家庭、地域の密接な連携のもとに「温かいふれあい」の機会をより広げ、子どもの心の理解に努めていくことが大切であると思います。

「自ら学ぶ」心の教育を

～学力の向上

これからの学校教育については、多くの知識を教えこむのではなく、自らが学び、自ら考える心の育成が大切です。

その後の学習や生活に必要な最低限度の基礎的、基本的内容に極力しぼった指導内容にし、それをゆとりの中で繰り返し学習し、確実に習得させるよう学校にお願いしているところです。この点については、特に教育研究所で行っている「標準学力検

査」の活用が大切ですので、さらに検討を加えていきたいと考えております。

また体験的学習や問題解決的学習は、児童生徒の学習意欲を高め、確実な力をつけていきます。進路の多様化、県立大学の開設等もあり、児童生徒の一層の学習向上を期しているところであります。

東中が創立三十周年

見聞広める海外研修を

十一年度の主な学校関係のものとしては、情報教育の面から中学校にコンピュータ三十台の設置を予定しております。なお、インターネットは、国では中学校は十三年度、小学校は十五年度まですべての学校で接続できるよう考えているようです。

また、東中創立三十周年にあたりますので、記念事業も色々考えられております。町としてもその一つとして、二年生の一部による海外研修を実施し、短期間ではありますが、見聞を広めさせたいと考えております。

なお、児童数の減少による小規模学校の今後の在り方につ

ては、関係PTAの役員の皆さんや議会の教育民生常任委員の皆さんとも、意見交換の機会を持つておりますが、今後とも十分共通理解を図りながら、慎重に対応して参りたいと考えています。

充実した社会教育と生涯学習振興を

平成十一年度は「社会教育中期計画」の二年次にあたりますが、施策の具体化、方向をそれぞれ確認しあいながら、条件整備に努めたいと考えています。

まず、体力づくりの面から懸案の町民プールの完成を見越しながら、より安全で利用しやすい運営の検討にあたっていると考えております。

また、県派遣スポーツ主事の任期切れに伴って、新しいスポーツ主事派遣を要望していましたが、幸い内定の報を聞き安心して参ります。

そのほか、生涯学習振興の観点から、新たに陶芸用窯の設置や作業所の建設、ことぶき大学、町民スポーツ祭、町音楽祭、高橋宏幸賞等の事業にも、より一層の充実発展を期しているところであります。



▲教育方針を発表する小松順之助教育委員長

教育方針

教育委員長の
教育方針から

より開かれた町政に新しい取り組み

町民のみなさんと行政が一体となって、住みよい町づくりを進めていくための情報公開制度。町でも三月議会定例会で「東由利町情報公開条例」が制定され、平成十一年十月一日より施行されることになりました。地方自治の本旨は「住民参加」であるといわれますが、住民が自らの町の自治に対し、的確な意見や態度を主張するには十分な情報が必要になります。そのためには新しい取り組みである情報公開制度に皆さんのご理解をお願いします。

町と町民が共に町づくりを

問 情報公開制度ってどんな制度ですか？

答 町民のみなさんの共有財産である、町が持っている情報を公開しようとする制度です。

町では、これまでもできる限り情報を提供してきましたが、今後は、この制度により町民のみなさんは、知りたい情報を町に請求することが出来ます。

情報公開制度の実施は

町の各機関と議会で

問 この制度を実施するのは、どんなところ（機関）ですか？

答 町の機関（町長部局、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会、固定資産評価審査委員会）および議会で実施します。

問 行政文書の開示を請求でき

る人はどんな人ですか？

答 町内に住所がある人、町内に事務所または事業所のある法人その他の団体などを対象とします。

問 開示する行政文書とは、どのようなものですか？

答 町職員が作成し、または取得した文書、図面、写真、磁気テープ（ビデオテープ、録音テープ）で町が保有しているものを対象としています。一般に容易に入手できるもの、利用に供されているものは除きます。

開示できない情報は

個人情報に関わるもの

問 請求があっても開示できない情報とはどんな情報ですか？

答 町は、行政文書の開示請求があった場合、原則として開示

する義務があります。

ただし、これらの情報の中には開示することにより、個人のプライバシーや法人の利益を侵害したり、町全体の利益を損なったりする情報もあります。従って、次のような情報が記録されているときは、開示できないこととなります。

①法令などの規定により、開示することができない情報

②個人に関する情報（特定の個人が識別され、または他の情報と照合することにより識別されるもの）

③法人等に関する情報で、開示することにより、法人の権利、競争上の地位などを害することとなる情報

④町が国や他の市町村と協力して行う事務事業で、開示することにより、両者の協力関係や信頼関係が損なわれるおそれのある情報

⑤審議、検討、協議など意志形成の過程にある情報で、開示することにより町民の間に混乱を生じさせるおそれや、特定の者に不当に利益または不利益をおよぼすおそれのある情報

問 「個人に関する情報」であれば、すべて開示できないことになりますか？

答 個人の思想、心身の状態、病歴、学歴、職歴、成績、親族関係、所得、財産の状況等その他一切の「個人に関する情報」であって、それが氏名や生年月日、住所等と組み合わせられることによって「特定の個人が識別され得るもの」は個人情報として開示することはできません。

ただし、次の情報は開示されます。

①法令などの規定によりまたは慣行として公にされ、または公にすることが予定されている情報

②人の生命、健康、生活または財産を保護するため、公にすることが必要であると認められる情報

③町の職員の職務遂行にかかわる情報（当該公務員の職、氏名、職務遂行の内容）

開示請求手続きは

町に開示請求書を提出

問 具体的な開示請求の手続きはどうなりますか？

答 開示を請求しようとする人は、請求者の氏名、住所のほか必要な文書等の名称及び開示の実施方法（閲覧か文書の写し）を記載した請求書を

平成11年10月1日 町情報公開制度スタート

町に対して提出します。

町は、開示請求書を受理してから十五日以内に開示するかどうかを決定し、本人に通知します。

なお、短期間（十五日以内）に開示決定が困難である場合は、さらに十五日を限度として延長される場合があります。

問 「部分的にしか開示できないまたは開示することができない」旨の決定に対し、不服である場合の救済措置はあるのですか？

答 行政不服審査法に基づいて不服申し立てを行うことができます。この場合、町は情報公開審査会に諮問して、開示決定の是非について審議してもらい、改めてその結果を関係者に通知します。

情報公開条例施行は

平成十一年十月一日から

問 この情報公開条例は、いつから施行されるのですか。

答 約半年間の準備期間を経て、平成十一年十月一日から施行する予定です。

従って、平成十一年十月一日以後に作成、又は取得した行政文書から開示対象となります。

問い合わせは、役場総務課総務係まで（☎六九—二二—〇〇）

あなたの一票で21世紀の秋田が変わります

4月11日（日）は 秋田県議会議員一般選挙の投票日です

次のような方は、ぜひ不在者投票を！！

（手続きは簡単。ハンコも不要です）

- 投票日
当日に
- ☐ 〇仕事がある
 - ☐ 〇用事がある
 - ☐ 〇旅行や買い物でいない
 - ☐ 〇冠婚葬祭があるなど

■不在者投票のできる期間：4月2日～10日の毎日
午前8時30分～午後8時まで
役場選挙管理委員会で受け付けています。

■今回投票できる方は、投票日現在二十歳以上の人で、
平成11年1月1日以前から
引き続いて町内に居住している人です。

■今回の投票から、入場券の氏名欄に
ハンコを押す必要はありません。

東由利町選挙管理委員会・
東由利町明るい選挙推進協議会

各投票区の投票所と投票時間

投票区	投票所	投票時間
第1	八塩館	7:00～20:00
第2	住吉会館	7:00～20:00
第3	袖山館	7:00～19:00
第4	玉米会館	7:00～20:00
第5	松柴地区集会所	7:00～19:00
第6	老方館	7:00～20:00
第7	祝沢地区集会所	7:00～19:00
第8	克雪管理センター	7:00～20:00
第9	大蔵館	7:00～20:00
第10	黒沢地区集会所	7:00～19:00
第11	高瀬館	7:00～20:00
第12	杉森地区集会所	7:00～19:00

各学校卒業式



▲先生とともに・・・（東由利中学校）



▲先生、長い間ありがとうございます（八塩小学校）

早春の光の中で 今



▲堂々と卒業証書を受け取る（大琴小学校）

三月。やわらかい早春の光の中、町内の各学校で卒業式が行われました。

様々な思いを秘めながら、卒業式を迎えた卒業生。在校生に学校の伝統をしつかりと引き継いで、長い時間を過ごした学び舎を後にして、それぞれの道へと歩きはじめました。

卒業はそれぞれの別れであると同時に新しい出会いの始まりでもあります。それぞれの新しい場所での活躍を期待したいものです。

ここでは各小学校の卒業式を写真で紹介します。



▲校長先生と思い出の記念写真（高瀬小学校）

小学校入学おめでとう

（敬称略）

◆八塩小学校（15人）

小野 俣太	工藤 大貴
斎藤 慎平	高橋 謙聡
田代 翔	横山 大介
阿曾 朋子	伊東 瞳
大塚 純奈	小松 貴子
佐藤 成美	佐藤真奈実
長谷山紗也果	幕沢 夕姫
渡辺 恵実	

◆大琴小学校（6人）

大日向 健	佐藤 明良
佐藤 恵介	高橋 文太
畑山 恒成	畑山 翔平
福田 一貴	阿部佑里絵
遠藤 温美	小野 睦美
小松優里香	佐々木夏美
高橋 沙季	畠山 千都
阿部 薫	

◆高瀬小学校（17人）

阿部 文和 遠藤 吉明

佐々木将人	高橋 和希
畠山 卓也	小松 由実
佐々木亜美	畠山 千尋



▲こんなシーンもとびだした（東由利中学校）

受賞から始まる町発展への力

「スポーツ、芸術、文化において功績があった町民の方々を称えよう」と毎年行われている、スポーツ賞および芸術文化賞。両表彰式が三月九日に有鄰館で行われ、関係者五十余名が出席しました。この日、スポーツ栄誉賞個人の部で十五個人、団体の部で二団体が、また、芸術文化賞には六個人がそれぞれ表彰を受けました。

主催者からは、長谷山体育協会長が「目標を持つことが大切。今後なお一層の努力を」、また小松芸術文化協会長が「よい結果を出すには素質×教育×努力が必要」とあいさつしました。来賓祝辞では阿部町長と阿部議長がそれぞれ「来年もここで会えることを期待している。ここから新しい出発を」、「努力の積み重ねが結果を生む。さらなる精進を」と受賞者を激励しました。

式の最後には、受賞者を代表して長沼利文さんが「この賞を励みに町発展に尽くしたい」と喜びを話していました。表彰者は次のとおりです。(敬称略)

スポーツ賞受賞者

《栄誉賞 個人の部》

- ◆鈴木翔子 (沼・東由利町スキースポーツ少年団)
- ・第三回本荘市由利郡スキースポーツ少年団種目別交流会スキー競技 六年女子大回転 第一位
- ・第一回秋田県スキースポーツ少年団種目別スキー交流会 六年女子大回転 第二位

- ◆高橋将也 (館合新田・東由利町スキースポーツ少年団)
- ・第一回秋田県スキースポーツ少年団種目別スキー交流会 五年男子大回転 第一位

- ◆長沼敬晴 (新町・東由利町スキースポーツ少年団)
- ・第三回本荘市由利郡スキースポーツ少年団種目別交流会スキー競技 六年男子大回転 第一位
- ・第一回秋田県スキースポーツ少年団種目別スキー交流会 六年男子大回転 第一位

- ◆長沼将馬 (新町・高瀬小学校)
- ・第一回秋田県スキースポーツ少年団種目別スキー交流会 三年男子大回転 第四位

- ◆佐藤忍 (時雨山・東由利町スキースポーツ少年団)
- ・第一回秋田県スキースポーツ少年団種目別スキー交流会 四年女子大回転 第二位

- ◆小松朋未 (下通・東由利町スキースポーツ少年団)
- ・第一回秋田県スキースポーツ少年団種目別スキー交流会 中学一年女子大回転 第三位

- ◆佐野新 (館合新田・東由利町スキースポーツ少年団)

- ・第一回秋田県スキースポーツ少年団種目別スキー交流会 中学一年男子大回転 第二位

- ◆長沼淳 (新町・東由利町スキースポーツ少年団)
- ・第一回秋田県スキースポーツ少年団種目別スキー交流会 中学三年男子大回転 第二位

- ◆伊東健司 (蔵・高瀬小学校)
- ・第三回本荘市由利郡小学生水泳交流会 六年男子五〇メートルバタフライ 第一位
- ・同 自由形 第一位

- ◆小松裕太郎 (中通・高瀬小学校)
- ・第三回本荘市由利郡小学生水泳交流会 五年男子五〇メートルバタフライ 第一位

- ◆佐藤真二 (袖山・東由利中学校)
- ・第五十二回本荘市由利郡中学校陸上競技大会 男子共通走幅跳 第一位
- ・第四十七回秋田県中学校陸上競技大会 男子共通三種B 第五位

- ◆遠藤和彦 (祝沢・東由利中学校)
- ・第五十二回本荘市由利郡中学校陸上競技大会 男子共通八百メートル 第一位

- ◆畑山裕美 (島・本荘高等学校)
- ・第四十四回秋田県高等学校総合体育大会陸上競技 女子三千メートル 第一位
- ・同 陸上競技 女子八百メートル 第二位
- ・第五十回県民体育大会陸上競技少年女子A 千五百メートル 第一位
- ・第四十四回秋田県高等学校総合体育大会駅伝競走大会女子 第二位
- ・女子第八回東北高等学校駅伝競走大会 第五位

- ◆浅田隆行 (大琴・由利工業高等学校)
- ・平成十年度全日本ジュニアバドミントン選手権大会秋田県予選会 男子シングルス 第一位
- ・第四十七回秋田県高等学校新人体育大会バドミントン競技 男子一部ダブルス 第一位
- ・同 男子一部シングルス 第三位
- ・同 男子団体 第三位

- ◆小松裕介 (上通・角館高等学校)
- ・秋田県高等学校体育連盟県南支部総合体育大会スキー競技 男子大回転 第一位
- ・第五十回県民体育大会スキー競技会 男子スノーシュー大回転 第四位
- ・同 男子大回転 第六位

- ◆《栄誉賞 団体の部》
- ◆ゲートボール東由利町チーム (石綿民喜他七名)
- ・文部大臣杯第十四回全日本ゲートボール選手権大会 秋田県予選会 優勝
- ◆特別奨励賞
- ◆東由利ウイングス (浅田浩子他十名)

芸術文化賞受賞者

- ◆小松幸子 (中通)
- ・第四十回秋田県美術展覧会 (工芸の部) 入選
- ◆梅津かおり (大琴)
- ・第四十五回NHK杯全国高校放送コンテスト出場
- ◆佐藤ナツエ (祝沢)
- ・第二十九回全国こてんまりコンクール中小企業庁長官賞受賞
- ◆小野利彦 (上里)
- ・第四十回秋田県美術展覧会 (工芸の部) 入選
- ◆八嶋保 (上通)
- ・第四十回秋田県美術展覧会 (写真の部) 入選
- ◆阿部泉 (蔵新田)
- ・第一回歌謡舞踊全国大会 団体の部優勝

▲受賞者全員による記念撮影

平成10年度 町スポーツ賞 町芸術文化賞 表彰式

新入学（児）期の交通安全運転

運動期間は四月六日から十五日までの十日間

四月は、児童の新入学（園）のシーズンです。

初々しい児童たちを交通事故から守ろうと、四月六日から十五日までの十日間、平成十一年度新入学（園）期の交通安全運動が実施されます。

三月には町内で痛ましい死亡事故が発生しているだけに、いかに子供を車から守るか、地域の人たちの責任ある運転が

広げよう マナーとゆとりで 無事故の輪

望まれます。

今回の運動では、子供を交通事故から守るために運転者は、

①保育所、幼稚園、学校等の周辺や通学路では、特に子供の歩行や自転車等に考慮した運転を励行する。

②シートベルトを自ら正しく着用するとともに、子供を同乗させる場合は、体格にあったチャイルドシートを使用する。

また、家庭では、
①家族みんなで子供の交通安全

に配慮する。

②自転車の利用にあたっては安全な自転車を利用する。

などが提案されています。

事故は被害者も加害者も悲劇です。落ち着いて安全運転を。



「げんき券」で元気になろう

平成八年度より交付している「温泉湯楽里無料入浴券」（黄色）が四月から「げんき券」（桃色）として生まれ変わります。

「湯楽里券」は、七十五歳以上の皆さんが利用出来る券でしたが、今回の「げんき券」は対象年齢を七十歳以上ということにしました。

■対象者 東由利町内に住所を有し、かつ居住する満七十歳以上の方

■交付方法 本人及び同一世帯

員の申請に基づき、一年間に十枚のげんき券を交付します。

■利用施設 黄桜温泉湯楽里

■利用方法 黄桜温泉湯楽里のフロントにげんき券綴りを提示してください。

■移行措置 交付済みの「温泉湯楽里無料入浴券」（黄色）は四月から「げんき券」（二日券）として利用可能です。

詳しくは福祉課福祉係（☎六九一一一八）までお問い合わせください。



▲湯楽里券（左）からげんき券（右）に



町功労者（元東由利町連合婦人会長）

畑山マサエ氏ご逝去

町功労者で東由利町連合婦人会長等を務められた畑山マサエ氏が三月八日ご逝去されました。

氏は、多年にわたり地域婦人団体に関与、昭和四十九年東由利町連合婦人会長に就任、その運営と組織活用によって母子保



健康事業の積極的な推進と住民皆検査の基盤づくりに尽力、昭和五十三年まで在任され、健康で明るい町づくりのため地道な活動の中心の推進力として活躍されました。また、町保健推進員会長、町愛育会会長、町結核予防婦人会長などを務められた功績等により、昭和五十三年に秋田県母子保健事業功労者表彰、昭和五十五年には町功労者表彰を受けられています。故人のご冥福をお祈りいたします。

町功労者（元東由利農業協同組合長理事）

小笠原謙一氏ご逝去

町功労者で東由利農業協同組合長理事等を務められた小笠原謙一氏が三月十八日ご逝去されました。

氏は、昭和四十三年東由利農業協同組合長理事に就任され、以来二十五年余在任されました。



また秋田県農業協同組合中央会理事、由利畜産農業協同組合連合会副委員長などの要職を歴任されるなどの功績により、平成六年度には町功労者表彰を受けられています。故人のご冥福をお祈りいたします。

70歳になるまでの退職者医療制度

国民健康保険の加入者で、長い間会社や役所に勤め、厚生年金保険や共済組合、船員保険などから年金を受けている人とその家族は、七十歳になって「老人保健制度」に移るまで「退職者医療制度」で医療を受けることになります。

退職者医療制度の対象者

退職者医療制度の対象者は

▼被保険者本人となる人

①国民健康保険に加入している。

②老人保健法の適用を受けていない。

③厚生年金や船員保険、各種共済組合などの被用者年金の老齢（退職）年金を受けている人で、年金保険の被保険者等の期間が二十年以上あるか、または、被用者年金制度に四十歳以後十年以上加入して通算老齢（退職）年金を受けている人。

▼被扶養者となる人

①国民健康保険に加入している。

②老人保健法の適用を受けていない。

③退職被保険者と生活をともにしている配偶者、三親等内の親族で退職被保険者本人の収入によって生計を維持している人。

【ただし、年間収入が百三十万円以上（六十歳以上、または障

害者の場合は百八十万円以上）ある方は被扶養者になれません】

資格と届け出は

■会社などを退職し、国保に加入

■年金受給権を取得（裁定請求）

※年金受給権が発生した日から

退職者医療制度適用の資格を得ます。

■年金証書が届く

■十四日以内に国保へ届け出

※退職被保険者証の交付

■「退職被保険者証」で医療を受ける

退職者医療制度の手続きは、町民課国保係の窓口へ次のものを持参のうえ届け出てください。

- ① 国民年金・厚生年金保険年金証書
- ② 国民健康保険証
- ③ 印鑑

お医者さんにかかる時

窓口で「国民健康保険退職被保険者証」を提示して診察を受けます。一部負担金の割合は次のとおりです。

区分	外来	入院
退職被保険者（本人）	2割	2割
被扶養者	3割	2割

外来の薬剤にかかる一部負担、入院時の食事代については、一般の国保と同様に定額の自己負担となります。

高額医療資金の貸付

町では、高額な医療費の支払いにお困りの方、一時的に高額医療費の支払いが困難な方に、高額療養費の八〇パーセント以内を無利子でお貸しする制度もあります。

●貸付を利用できる方

町内に住所を有し、高額療養費の支給対象となる方

●貸付額

高額療養費支給見込み額八〇パーセント以内

●手続きに必要なもの

①医療費の請求書②保険証③印鑑
なお、返済は高額療養費の支給を受けた時にさせていただきます。

お問い合わせ

合わせは町民課国保係
(☎六九一一・二二一七)



林業だより

山菜の生産と流通

自然は冬の眠りから覚め、根雪も融けはじめて春の到来です。春を告げる山菜は、自然食品としての消費が高まるなかで、農山村における副収入源となつていきます。

全国の山菜類生産統計を品目別に見ると、天然物の占める割合の大きいワラビ、ゼンマイは減少傾向にあります。人工栽培物の多いフキ、ウド、タラノメなどは、逆に生産量が増大してきています。

一方、山菜類の流通動向は、バブル崩壊後から、需要の大部

分を占める料亭などの業務需要が減少して需要バランスが崩れ、市場における販売価格が安くなつていきます。

景気が低迷している現状では、更に消費が伸び悩み、産地間競争が激しさを増すと思われる、市場や小売店からは、青果物と同様に定質定量出荷や多品目出荷、すなわち種類の多さが消費者へのアピールになるので、例えば、タラノメ、フキノトウ、コゴミ、ウドなどセットでの出荷を望んでいます。

（町林業懇話会会長 佐藤恒悦氏）

東由利・成立

区分	頭数	平均体重	平均価格	Kg当単価
去勢	42	305kg	514,325	1,607
雌	22	278kg	366,545	1,255
合計	64	296kg	463,526	1,486

●最高金額 去勢 644,700 北国7の8 紋次郎 福昌
●最高金額 雌 527,100 北国7の8 安美金 第7条桜

三月家畜市場

径級	単価（石）	備考
直材30cm上	—円	
24~28cm	4,900円	
14~22cm	4,800円	
13cm下	2,700円	
曲り材	2,000~2,700円	

14~22cm（柱材）はほぼ完売。24cm上材については選別買い。全体的に動きが出てきたが、山林所有者、素材生産業者にとっては依然厳しい状態。今後の需要に期待したい。

木材共販市況

（平成十一年三月・平均価格）
四五年生から五五年生

地域農業の中心的役割担う

法内集落農場組合二十五周年

二月十九日、湯楽里において法内集落農場組合二十五周年祝賀会が行われ、組合員をはじめ関係者ら五十余名が出席、同組合二十五歳の歳月にわたる歩みを語り合いました。

遠藤房三組合長のあいさつに引き続き、故遠藤正男氏の功績を称えた感謝状贈呈。その後阿部町長、梶原由利農林事務所長、阿部議会議長、JAあきたしんせい地区担当阿部理事のお祝いの言葉がありました。

祝宴では和気あいあいとした雰囲気の中、試行錯誤を繰り返した頑張っ

てきた日々をふりかえりました。

この事業は、小畑県政の農村改革目玉事業として打ち出された集落農場化事業で、町内の先陣を切り、法内地区が故遠藤正男組合長を中心に取り組んだもの。当時、町内の五集落がこの事業に取り組んだものの、現在も事業展開しているのは同組合のみになりました。

同組合は昭和四十八年集落農場組合の指定を受け設立、翌四十九年、新処に育苗センター竣工、同五十一年ミニライスセンター竣工、同五十二年管理棟建築工事竣工と、施設整備を進めながら、地域の中心となり農業に取り組みました。また、昭和五十三年に全国農林水産祭において農林大臣賞を受賞するなど輝かしい実績を残しています。

法内集落農場組合の二十五年は、町農業の歩みであり、苦難の歩みであつたといえます。特に初年度には台風なみの突風による育苗硬化ハウスの崩壊、五十六年には稲の刈取り不能など自然災害との戦いでもありました。

担い手問題をはじめ、減価償却、米関税化、新農業基本法、大幅な減反施策などたくさんの課題がありますが、今後地域農業の中心としてなお一層の発展が期待されます。



▲法内集落農場組合25周年祝賀会での記念撮影

さみしさと懐かしさを胸に

黒淵診療所が役割終える

黒淵地区の方々が利用した黒淵診療所が三月二十五日を最後に長年の役割を終えました。昭和三十七年開所以来三十六年の長きにわたり地域の診療所として親しまれてきました。が、道路改良による交通事情の改善などにより幕を閉じたものです。

▲黒淵診療所で最後の診察を行う小松先生

この日の担当は小松眞悦先生。この日も訪れた患者さんを診察していました。昭和五十年代から診療所助手として医療に携わった渡辺イ子さんは「さみしいけれど、懐かしい思い出一杯」と話してくれました。



糖尿病を考えた健康大学

第三回健康大学

三月十九日、第三回健康大学並びに愛育班員研修会が有鄰館で行われ、班員ら五十余名が出席しました。当日は本荘第一病院の若松秀樹副院長を講師に迎え「糖尿病を正しく理解するー甘い生活にご用心」と題した講演が行われました。

糖尿病は、四十歳以上の成人に限ると十人に一人の病気で高血圧に次いで多い病気。「糖尿病は治すという意識ではなく、血糖をコントロールしながらつきあうもの」との話に参加者は耳を傾けていました。



▲若松副院長が糖尿病にまつわる講演を行った

町のあっち、こっちから



▲小笠原学長から皆勤賞を受ける佐藤鶴松さん

人生に生きがいを持って

ことぶき大学閉講式

三月八日、朋楽荘において平成十年度ことぶき大学閉講式が行われ、ことぶき大学生ら約百余名が出席、三十三人に皆勤賞（代表佐藤鶴松さん）、五十三人に精勤賞（代表阿曾ハツヨさん）が授与されました。

小笠原学長の式辞では「生きがいを求めることが大切。そのため、ことぶき大学の役割は重要。また感謝する気持ちを忘れず」と話しました。

本年度は河辺町の施設訪問など様々な行事に参加したみなさん。十一年度も元気に参加を誓いました。



▲佐々木講師が生徒に最後のあいさつ

冬期間の思い出を忘れずに

中学校寄宿舎閉舎式

三月十九日、東由利中学校冬期寄宿舎閉舎式が行われ、寄宿舎生など関係者が出席しました。

式では、小川校長が「三年生が下級生をリード、他の学校で体験できない事を学んでくれた」と一回り大きくなった生徒に語りかけました。

またひとつの屋根の下で、二十五人の生徒を見守り続けた佐々木博文講師が「生徒も成長したが、自分自身も成長できた。ありがとう」と生徒にあいさつ。最後に手作りの記念誌を手渡し、別れを惜しみました。



▲初優勝を飾ったウイングスの皆さん

バレー初優勝にウイングス

99バレーボールリーグ

冬期の運動不足解消と、選手間の交流を目的に毎年行われているバレーボールリーグ。

今年も一月十九日から七チームが参加して行われていましたが、二月二十八日決勝リーグをむかえました。

決勝リーグでは、予選四位のウイングスが初戦で予選一位のJOYASERSを破り勢いに乗り、初優勝を飾りました。

また、今回から設けた個人賞の部では、最優秀選手にウイングスの長谷山友子さんが選ばれました。



▲ソリ遊びに興じた「お茶っこの会」会員

青空の下 ソリ遊びに興じる

お茶っこの会スキー場へ

社会福祉協議会が中心になって行っている地域デイサービス「お茶っこの会」。この会は各地区の高齢者の皆さんが様々な活動を行っています。

また宿地区の会では手作りの雑巾を学校に贈呈するなど地域とのつながりを大切にしています。

三月三日には、大平スキー場を会場に雪と親しもうと、老方、玉米、住吉の会員の皆さんが多数参加しました。当日は天気も良く、過ごしやすき空の下、ソリやチューブ滑りを楽しんでいました。

東由利文化クラブ

町畜産振興に大きな貢献

十四年間の指導員生活に終止符



▲鈴木畜産指導員送別会での一コマ。「長い間ご苦労さまでした」

「その家の牛飼いで、長は大抵母さんである。前迄は主任又は係長であつたがその重要性に鑑み私が勝手に課長に昇格させた。母さん課長がいなければ牛のことは何もわからない農家が多い。父さん社長に尋ねても『さあ・・・』という返事が殆どである。母さん方は皆さん美人で朗らかで物事をよくよくしない肝っ玉母さんだ(後略)(畜魂 東由利町畜産指導員つれづれの記より)」

畜魂

東由利町畜産指導員つれづれの記

▲鈴木氏が綴られた「畜魂」

員に鈴木龍太郎氏が嘱託され、以来十四年もの永きに渡つてわが町の畜産行政、畜産農家がお世話になってきましたが、このたび三月いっぱい畜産指導員から退任されました。十四年間、町の畜産において様々な出来事がありました。昭和六十一年、畜産広場で初の共進会開催。昭和六十二年、由利郡畜産共進会で団体総合優勝。同年、島根県で行われた全国和牛能力共進会で、畑山藤作氏の和牛が優等賞受賞。平成四年、年間市場上場頭数一、〇〇〇頭が達成したこと

鈴木龍太郎畜産指導員が退任

東由利の文芸

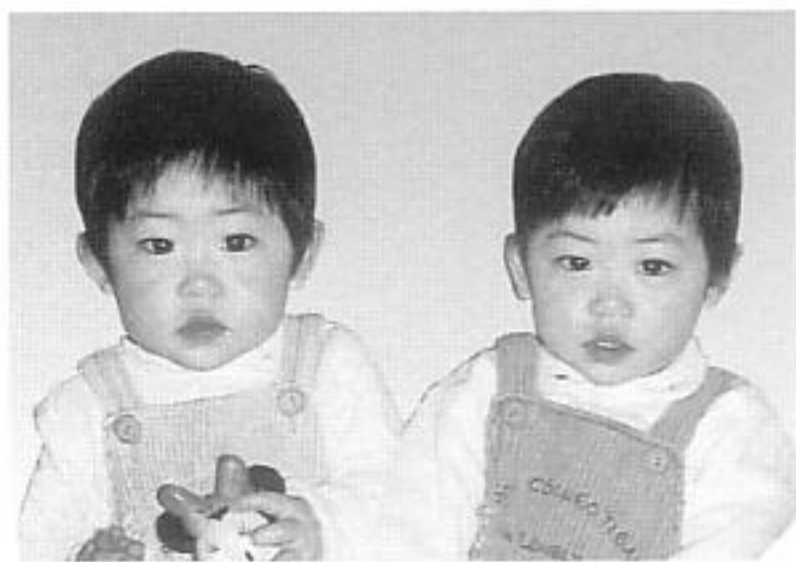
(せせらぎ句会)

切株に座し囀に吸い込まる
春めくや空の色して水溜り
早春の村は丸ごと南向く
定年の軽ろき身となり桜餅
先づ山に雪解けの風起こる音
一二輪敷の日溜り野梅咲く
恋猫に要なき用を子に頼み
鯉一つ大きくうねり種浸す
南天の青さ雪より背高し

小倉	遠藤トミ子
高戸屋	小松 敏雄
湯出野	佐藤 正義
久保	高橋 典三
舟打場	高橋民治郎
中通	小松順之助
秋田市	嵯峨 義之
山崎	小松 良子
湯出野	小松 徳蔵

内裏雛吾子の笑くぼも加わりぬ	蔵新田	小野 貞子
ふる里に鼓吹く大地をゆさぶるぬ	横 渡	高橋ヒナ子
さがけてサフラン薄目にほぐれけり	横小路	宮野源二郎
木の芽時ぼつりと前歯離乳の子	蔵	阿部 澄子
蜆汁馬鹿塗りという椀と箸	家ノ下	小松 正昭
乳足りて二つ子寝落つ夜の雪崩	五海保	嶽石 レイ
詰衿に希望ふくらみ入学す	蔵新田	小笠原亮子
春休みたつぷり遊ぶ予定表	上 里	小野石路子
腰痛も一息つけり蜆汁	横小路	小松 文介
山脈に星きらめきて春浅し	時雨山	吉川 葉子
春昼や湯のほとりの佃煮屋	船 木	大庭嘉右衛門
お見舞はさくら餅とて喜ばる	蔵新田	小笠原トミ
砂こぼす砂丘育ちのほうれん草	下小路	小松 メサ

アイドルをさがせ!



佐々木泉美ちゃん、友美ちゃん(共に1歳)
お父さん:良一さん、お母さん:和子さん

お話し:和子さん

佐々木家の双子ちゃんとして親しまれている泉美ちゃん、友美ちゃん。いつも一緒にいる仲良し姉妹です。

「名前はお父さんが本などを見て決めました。性格はお互いが良く似ていてあまり違いはないようです。相手を意識して行動しているようなので、似るのでしょうか。個性はこれから出てくるでしょうね。強いといえば友美の方が恥ずかしがりかな。

好きなものはくだもの、保育園のスベリ台です。

あと、二人ともおじいちゃんが好きなようになっています。よくだっこしてもらっています。

将来は相手の立場になつてほしいのを考えられる人になつてほしいです」

ので、冒頭の文章も鈴木氏が書かれたもの。同氏の人柄と町の畜産農家に對する温かいまなざしが感じ取れる冊子です。町畜産振興に大きな貢献を残して退任される鈴木指導員。本当に長い間ありがとうございました。

「(前略) その頑丈な山菜の汁のしみている手ほど美しい手はない。その手が主人を助けて家庭を守ると共に、ひいては人の命を守り育てる農業を支えている大事な美しい手なのだ。なん

で恥ずることがあろうか、この働く手を見よと、高く挙げて誰も笑うことの出来ない、文句の言えない尊い手なのだ(同冊子「働く手」より)」

「(前略) 話題が後継者問題になったときその方は『私には娘達がいるが果たして農業を継いでくれるかわからない。又私も必ず農業を継げとは言っていない。ただ常に言っていることは今迄暮してきた金、そしてこれから生活にかかる金やお前達

を一人前の人間にするため必要な教育費は稲と牛からの収入である。土と牛の臭いのする金である。お前達が農業が厭だとか、牛はきたないから嫌いだというのは勝手だが、金を手にしたとき土と牛の臭いを嗅いでくれ、土を耕し牛を飼っている親達を思い出してくれといっている』としんみりと話をされた。私は黙って頷くのみであった。(同冊子「土と牛の臭いのする金」より)」

伝八髭の松四郎さんも年頃となり、矢島の町で徴兵検査を受けることになりました。揮一つの裸の伝八髭さん、ピーンとはったカイゼル髭は堂々とし、そのまま將軍を思わすに十分なものでした。

これを見た唐獅子づらの検査官は「本官の髭より勝るとは不とうどきなり。生意気だっ」とばかり、裸のお尻をピシヤリと一発。赤い手形のついたあとを撫でている髭さんでした。

た。流行のハンター帽に縞のズボン、益々立派になったカイゼル髭をなでながら、さっそうとペダル踏む髭さんの誇らしさは、村むらの語り草になったそうです。

村で第一号といわれるこの自転車を毎日のように見にくる若者たちには髭さんは、得意満面になって説明をするのでした。

新しがりの中にも、釣りや山など四季の自然を愛し、数えきれないほどのエピソードと笑いの花を咲かせる髭さんは、村のみんなに親しまれました。

昭和二十二年、秋も深まろうとした頃、静かに永遠の人となりました。

伝八髭さん

最後の一年に

下郷分校 三年

畠山 孝行くん



三年生になって目標としていることは次の三つです。

その一つは、生徒会の一員としての責任を果たすことです。僕は昨年の十二月から文化委員長をしています。これまで委員の人たちをうまくまとめて仕事をしていくことができませんでした。今年

ふるさと むかしむかし

髭さん通る

むかし、島に古くから伝八さんといわれる家に、長男の松四郎さんを始めとし、竹治、梅之助、ツルエ、カメノと、めでたさづくしの名前の兄妹がいました。

父親の畑山松吉さんは、末のカメノさんが生まれたときには「これでようやく、松竹梅鶴亀そろった」と、大よろこびで自慢をしているのでした。

中でも長男の松四郎さんは、若者になるにつれて、父親似の明るさと粹に磨きがかかり、鼻の下に髭をたくわえ、暇あること手入れをし、その髭は立派なカイゼル髭になりました。村のみんなは伝八髭と呼ぶのでした。

おかげで日露戦争征きとなり、したが、立派な髭がものをいい、師団閣下と間違えられたりして、激戦の旅順攻撃の難をのがれ、一命を拾ったのでした。

日露戦争の大勝利で、従軍兵士は英雄視され、多額のご下賜金を受けました。髭さんはそのご下賜金をポンとはたき、

（文と絵 石渡力造氏）



当時は、舶来品を一手に取っている東洋商会より、高級自転車カンガルー号を買い求め、意気揚々と凱旋したのでし

4月▶データ東由利

〈2/1～28〉

住民基本台帳人口 ()は前月比

- 男……………2,527人 (△7)
- 女……………2,681人 (△10)
- 計……………5,208人 (△17)
- 世帯数………1,389戸 (△2)

()は1月からの累計

- ・出生1人(1)・死亡8人(11)
- ・転入4人(8)・転出14人(21)

- 火災出動……………1件(2)
- 救急出動……………14件(35)
- 交通事故……………1件(2)
- ・死亡……………1人(1)
- ・傷者……………0人(1)
- 飲酒運転……………1人(1)
- 酒気帯び……………0人(0)

カレンダー 4月の行事予定

- 2 永慶、みどり保育園入園式
- 5 八塩、高瀬、大琴小学校入学式
- 6 東由利中学校入学式
- 11 秋田県議会議員一般選挙
- 15 臨時議会
- 23 ことぶき大学
- 24 スポーツ少年団入団式
- 29 みどりの日
- 29 全町一斉河川清掃



ほっとひといき

毎年行われる卒業式ですが、今年は感動的な場面に遭遇することが多かった。中学校では、涙を見せる女子生徒がずいぶんいましたし、玄関先では校舎から立ち去り難い卒業生がかなり見受けられました。また、各小学校でのそれぞれ特徴あふれる式でした。卒業生に写真撮影をサービスしていた学校長。証書を渡す時全員の卒業生に声をかけた学校長。卒業する児童全員の長所を舞台上で発表し、送りだした学校など。殺伐とした社会ですが、あたたかいものを見つけないといけません。(さ)

東由利

郷土の野草

NO.170

メドハギ
(マメ科)

文・写真 小松忠正氏

原野、特に道路を造った斜面に多く目につく多年草で、カンナ平の粗大ゴミを投棄する道路のそばには一面に繁茂していますし、茂沢へ行く途中の道でも多く見られます。直立した茎は一メートルにもなり、枝分かれが多く、その枝に長楕円形の三小葉がびっしりとつきます。夏に葉腋に白色に紫のスジの入った長さ五から七センチの小蝶形花を少数つけます。



和名は目処萩で、筵萩の略されたものとい、易者が易をするとき、筵竹をこの萩の茎を代用したことからいわれるといます。

戸籍の窓口

(2月21日～3月20日届出)

お誕生おめでとう

2/24 畠山 誠文さん(誠子) 大吹川

3/4 畠山 稿高さん(修織) 地下沢

●ご結婚おめでとう

3/4 阿部 樹悦さん(蔵) 由利町
阿部 真紀さん

●ごめい福をお祈りいたします

2/20 長谷山キエさん(88) 松記・母・山崎

2/23 小野アサエさん(81) 勇毅・母・高屋

2/27 小笠原フサノさん(91) 慶藏・母・横渡

3/8 畑山マサエさん(92) 昭一・母・島

3/10 阿部 清治さん(71) マサ子・夫・蔵新田

3/15 伊東キミ子さん(74) キミヨ・姉・横渡

3/16 八嶋サヨ子さん(59) 信雄・妻・黒淵

3/18 小笠原謙一さん(72) タエ・夫・土場沢

歓声あげて 東由利の冬楽しむ

秋田県選抜雪上野球大会



▲選手たちが雪上でハッスルした雪上野球

二月二十八日、毎年恒例の秋田県選抜野球大会が勤労者野球場で行われ、町内チームをはじめ県内各地から八チームが参加、寒さを吹き飛ばそうと、歓声をあげて東由利の冬を楽しんでいました。当日は、激しい雪まじりの風で、条件は良くなかったものの、そこは雪上での競技、むしろ雪まみれの方が雪上野球らしくていいとばかり、雪上ならではの珍プレー、好プレーが続出しました。練習風景がNHKで、当日の様子が民放テレビで放送、また各新聞でも取り上げられるなど、雪上野球に対する反響は上々。ミネソタ大学から様々な国籍の学生チームが今年も参加するなど、東由利発野球は年々盛り上がりを見せているようです。

まごころ
社会福祉協議会に佐藤好吉さん(須郷田)、長谷山松記さん(山崎)、小野勇毅さん(高屋)、小笠原慶藏さん(横渡)、畠山勉さん(地下沢)、伊東富次郎さん(横渡)からご芳志が、また広報送付謝礼として、畠山安治郎さん(仙台市在住)、遠

藤記さん(郡山市在住)、伊東実さん(浦和市在住)、匿名さん(本荘市在住)、畠山竹志さん(本荘市在住)、佐藤重一さん(鳥海町在住)、秋田東由利町を語る会から金一封が届けられました。ありがとうございました。

